

ESD活動の実りの秋!!

2学期がはじまり、早くも1ヶ月が過ぎました。各学校におかれましては運動会や体育祭など大きな行事が一つ一つ終わられていることと思います。

さて、2学期はESD活動が意図的・計画的に取り組める時期でもあります。活動の記録については、活動のねらいと共にどのようなゴールを目指して発信をしていくかが大切です。活動過程においては、児童生徒のポートフォリオ(記録・写真・感想文等)を残しながら活動していくことが発信のまとめには役立ちます。

各学校で周知されているとは思いますが、本年度の1月の子どもサミットでは、児童生徒の発表校以外は、各学校のスライドショーの投影となりますので計画的な準備をよろしくお願いいたします。

具体的な作成方法については、日本ユネスコ協会連盟の「第5回私のまちのたからもの」スライドショーコンテスト応募要項に準じます。ESDの活動を充実させましょう!



大牟田市立勝立中学校の実践

環境学習で循環型社会を考える

勝立中学校1年生の総合的な学習の時間は、「環境」をテーマに、循環型社会を考える学習活動に取り組んでいます。1学期にパソコンを使って資源リサイクルの取組や仕組みを調べました。8月には、北九州市のエコタウンで、ペットボトルリサイクルについて話を聞いたり、風力発電施設を見学したりしてエコタウン事業について学習しました。エコタウン事業とは「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること(ゼロ・エミッション)」を目指し、資源循環型社会の構築を図る事業のことです。

人が生活するうえで環境との繋がりは欠かすことができません。このような学習を通して、一人一人が将来の資源循環型社会の構築の担い手となってほしいと思います。



大牟田市立高取小学校の実践

下級生や幼児への「読み聞かせ・アニメーション体験」を通して

高取小学校では、“地域や人との「つながり」「かかわり」”を大きな柱に、各学年学習に取り組んでいます。3年生では、下級生や幼児に読み聞かせや本の内容をもとにゲームを行ったり、読書ボランティアの方に読み聞かせの仕方を指導していただいたりしています。昨年度は下級生と幼稚園・保育園を訪問して読み聞かせ・アニメーション体験をしました。その際、地域の読書ボランティアの方から読み聞かせの方法を指導していただきました。それを生かして、読み方やページのめくり方、クイズの内容などを工夫して、本に親しみ、楽しんでもらえるよう活動しました。



大牟田市立平原小学校の実践

身近な環境から世界の環境へ目を向けよう

本校の5年生は、身近な堂面川の汚れと生活排水の因果関係を調べ、自分達の生活を振り返る学習をしています。水質検査の時には、市の環境保全課による出前授業を設定し、より科学的に調べられるようにしています。また、この学習をきっかけに、自分達の周りで起きている環境問題について、より広く深く調べ学習を行い、この内容についても出前授業で価値付けをしていただいています。これらの授業は、友好姉妹校である中国大同市第十八小学校の先生方や研修員の方に公開しています。子ども達には、海や空はつながっていること、その自然の中で生きている人々もつながっていることをしっかりと学ばせたいと思います。

